

校長室だより No.37 8月24日（月）
夏休みの成果（2 学期始業式）

いよいよ2学期が始まり生徒が登校してきました。大掃除中に3年生に夏休み中の話を聞くと「ほとんど家から出ることがありませんでした」「進路の勉強していました」「課題をやるのに精一杯でした」とのこと。なかには「部活してました」という真っ黒に日焼けした強者もいましたが、さすが3年生だけあって目の前の進路に向けて取り組んだ生徒がほとんどのようです。

また、始業式後に別の生徒に声をかけると「天気予報にしたがってLEDのライトが光って知らせるシステムを作りました」という本校らしい夏休みの過ごし方をした生徒もいました。なんでも熱中症に警戒しなければならないときは「赤」に光るのだとか。家庭科のホームプロジェクトの取り組みに一環のようですが、本校での学びがしっかり活かしていることに頼もしさを感じました。

さて、始業式ではあるアパレルブランドが全店舗を閉鎖してECサイトでのネット販売に営業形態を移行したことを題材に話をしました。大勢の販売員が職を失った反面、自社のネットサイトにコーディネートを画像で投稿し、またネットでのスキルを活用することでその販売実績額がひと月で8000万円にのぼるカリスマ販売員も出てきているようです。

このコロナ禍で大手IT業界が軒並み業績を上げたように、どの業種でも今後はその業種の知識プラスITスキルを身につけていることが求められてきます。つまり本校での学びがそのまま自分たちのアドバンテージになるということを理解し、普段の授業に意欲的に取り組んで欲しいということをお話しました。

1学期に私たちは「学校に登校して授業を受けられること」は「当たり前」ではないことに気づかされました。一つ一つの授業を大切に、この2学期を過ごして欲しいと願っています。